

KANDA
TOWN



こんにちは議会です

April
25.2007

No.91

がんだ



潮干狩りを楽しむ人々（白石海岸）



3月定例会

- 「手づくりのまちづくり」をめざして…………… P2~P4
- 各委員会報告 …………… P5~P7
- ズバリ町政を問う(10人が質問)…………… P9~P18
- カメラ見て歩き …………… P19



発行／苅田町議会 編集／議会広報特別委員会

〒800-0392 福岡県京都郡苅田町富久町1-19-1
TEL (093) 434-1981 FAX (093) 436-3014

あなたと議会をむすぶ GIKAI.MAGAZINE

くりをめざして

3月
定例会

133億1,221万円

(万円以下切り捨て)

前年比3.79%減

町民1人当りに使われるお金
平成19年3月末日現在の人口
34,615人
384,579円

● JR苅田駅周辺整備事業

2億6,001万円

昨年新駅舎及び東西線（ウィロード）供用開始し、現在福岡県の施行する東口駅前広場のペディストリアンデッキの下部工事が平成20年度完成予定です。

街路事業や町道井場川・長畑線は平成21年度完成をめざして予算化されました。



整備が進むJR苅田駅周辺

3月5日から3月26日まで会期22日間開催

予算・条例・補正予算・専決処分
財産の取得・工事請負契約など58件可決

「手づくりのまちづ」

平成19年度 おもな事業

一般会計

● 少子高齢化対策 1億404万円

主な事業内容は、馬場小学校校区放課後児童クラブ、「はじめまして赤ちゃん訪問事業」、出産お祝い記念品、療育支援教室など。



町役場窓口 健康福祉課



「里山体験学習の森」整備予定地

● 教育環境整備事業

- ・ 町民プール（用地費） 1億円
- ・ 里山体験学習の森整備事業 1,350万円
- ・ 等覚寺地区生涯学習施設整備事業 2,282万円

・小波瀬西工大前駅
 基本構想 500万円



現在の小波瀬西工大前駅周辺

・観光事業 800万円



●安全で安心できる町づくり事業
 防災無線整備事業
 1億7,000万円

平成19年度一般会計当初予算の性質別比較

(単位：千円)

性質別区分	19年度当初	18年度当初	比較増減額	説 明
人件費	2,496,840	2,430,022	66,818	職員や特別職等、人に伴う一切の経費
扶助費	1,442,318	1,310,156	132,162	社会保障制度としての様々なサービスのための経費
公債費	1,182,835	1,095,521	87,314	借入れた資金を返済するための経費
物件費	2,634,547	2,441,013	193,534	事務に要する経費や施設の維持管理に要する経費
維持補修費	54,427	55,368	△ 941	道路や施設の維持に要する経費
補助費等	891,180	961,553	△ 70,373	他団体への補助金や負担金等の経費
普通建設事業費	2,871,499	3,592,591	△ 721,092	施設の整備等行政水準の向上のための経費
災害復旧費	1,000	9,447	△ 8,447	災害復旧のための経費
繰出金	1,499,627	1,804,890	△ 305,263	会計間相互の予算の融通のため支出する経費
その他	237,942	136,463	101,479	積立金、出資金、貸付金、予備費
予算合計	13,312,215	13,837,024	△ 524,809	

予算特別委員会報告



予算特別委員会委員長
坂本 東二郎

●付託案件

平成19年度予算
一般会計
特別会計
下水道事業会計
水道事業会計

1件
9件
1件
1件

慎重審議の結果、全議案を可決した。

●一般会計予算

Q スターフライヤーへの出資により町民へのメリットはあるのか。町民のためになる利用方法を積極的に展開していただきたい。

A 出資により町民への還元策は、スターフライヤー社と話し合いたい。

Q CNG（圧縮天然ガス）スタンド6月初旬完成予

ことをするのか。

A 第一子のみの家庭訪問事業でストレス、産後うつ対策等を行う。

Q 荻田エコプラントにつ

A 荻田エコプラントについて。当時はダイオキシンの対策、焼却灰処理等問題があり、採用した画期的なものであったが、RDFが有価から逆有価になり今後も上がっていく計画だがどうなるのか。

A 逆有価の点は処理過程での塩素除去装置が必要である。他との比較ではかなり安い。今後直営化を含め環境との調和等根本的かつ長期的な検討をしていきたい。

Q 小波瀬西工大前駅基本構想設計は。

A 小波瀬西工大前駅のあり方についての基本に戻り構想してみたい。

●国民健康保険特別会計予算

Q 荻田町は滞納率が県平均に比べ高いがなぜか。

A 高いとは思えない、調停時期にずれがあるのでは。

●老人保健特別会計予算

Q 多受診や重複受診対策は。

A 保健婦を採用して各戸訪問を行いソフトな形で相談に乗っている。

●奨学資金貸付金特別会計予算

Q 貸付予算額が減少しているが。

A 18年度73名に対して19年度は58名分で予算化している。貸付金の増額については検討してみる。

●学校給食事業特別会計予算

Q 給食費の持参方式を採用してその効果は。

A 収納率は上がっている。

●住宅新築資金等特別会計予算

Q 滞納について。

A 連帯保証人に対して徴収している。

●農業集落排水事業特別会計予算

未処理地域への一日も早い整備促進を求める意見要望があった。

●下水道事業会計予算

補助金及び交付金両方を活用し早期整備することの要望があった。

●水道事業会計予算

二崎浄水場の改修について、北九州市からの給水計画との整合性について矛盾点の指摘があった。



予算特別委員会

総務常任委員会報告



総務常任委員長

白石 壽 幸

●付託案件

- 条例の制定 3件
- 条例の一部改正 5件
- 補正予算 2件
- 財産の取得 1件
- 事務組合改編等に
関する議案 8件

慎重審議の結果、全議案を可決した。

●議案に対する主な質疑

● 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

Q 改正による会計管理者は、従前の収入役と同じ役割か。

A 全てということではないがほとんど変わらず会計管理者が行うこととなる。

●苜田町部・課設置条例の

一部改正条例の制定

Q 部のみ定めることとなっているが。

A 課・係はその時代の情勢にあった運用で、町の施策が行えるよう規則で定める。

●国民健康保険税条例の一部改正条例の制定

Q 値上げの前に後期高齢者関係や滞納問題等についてもっとやる必要があるのではないか。

A 後期高齢者についてははつきりしていないが、滞納問題については関係課で細部精査している。

●苜田町一般会計補正予算

Q 集会所施設整備補助金と都市計画費のうちの用地購入費との関係は。

A 西鉄団地内の合併浄化槽跡地で小波瀬区集会所及び児童公園的な用地を購入するものである。

Q 今後、土地開発に当たっては、公園や集会所の問題も含めてやって頂きたいとの要望があった。

Q 滞納整理システムの導入効果等について。

A 滞納データの一元化を図るもので、効果が絶対上がるということにはならない。

Q 各消防団の車庫は団員の待機所となっており、待機所の処遇改善を図りたい。

A 現状を十分把握し検討する。



現在の待機所

産業建設常任委員会報告



産業建設常任委員長

井上 修

●付託案件

- 条例の制定 1件
- 条例の一部改正 2件
- 専決処分（一般会計補正予算） 1件
- 補正予算（18年度） 6件
- 補正予算（19年度） 1件
- 町道路線の認定 1件

慎重審議の結果、全議案を可決した。

● 一般会計補正予算（第8号）
 議案に対する主な質疑 19年度一般会計補正予算（第1号）

Q 県受託事業として白石地区国土調査の再調査は、水路に関する共有者の承諾は得られるのか。

A 解決に向けて努力する。



整備された白石地区

厚生文教常任委員会報告



厚生文教常任委員長
長 井 孝 篤

●付託案件

条例の一部改正	2件
補正予算	8件
指定管理者の指定	1件
指定管理者の指定の議決内容の一部変更	1件
工事請負契約	2件
広域連合の設置	1件

慎重審議の結果、全議案を可決した。

●議案に対する主な質疑

福岡県後期高齢者医療広域連合の設置

Q 老人保健はどうなるのか。

A 後期高齢者医療の中に包含される。

Q 導入により負担は今後どうなるのか。

A 保険料は今後詳細に検討していくが、現在全国レベルでは6千数百円、福

岡県は特に医療費が高いので、これより若干高くなるのではと思う。

●「未来を拓く子供を育てる教育の町 荏田」特区に係る荏田町費負担職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

Q 少人数学級を新4年生以上の適用ができないのか。

A 適用範囲を広げることには町教育委員会の裁量を超えており困難である。

●「指定管理者の指定」及び「指定管理者の指定の議決内容の一部変更」

Q 放課後児童クラブの定員オーバーについて。

A 特に与原、荏田小学校区が問題で、学童保育を受けてもらえる場所を探

している。

●一般会計補正予算（第11号）

Q 障害者福祉費で相談支援事業委託料6百万円減の理由。

A 相談の受け手がなかったことによるが、現在は役場窓口で障害者の相談に応じている。

Q 町民検診委託料では、国保会計破綻を防ぐため受診率の向上を図るべきだ。

A 広報活動等努力し、年々向上しており昨年は58%



与原小学校区 学童保育

で近隣でも高いほうである。平成20年度より生活習慣病に重点を置いた個別指導制になる。

●国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

Q 国保税の滞納で200軒に資格証明書が発行されているが医者にかかれないなどの人道上の問題を生じている。町長の裁量で救済できないか。

A 国の法律に基づくもので自治体の裁量権はなく実施はきわめて難しい。

●介護保険特別会計補正予算（第3号）

Q 要介護1が要支援1、2に変更になったことによりデイサービス等の低下の苦情が増えているが、町独自の救済はできないか。

A ランクは認定審査会の結果であり変更は難しい、要介護1から要支援1になった人に対してパンジーその他に受け入れ場所を2カ所探している。

●工事請負契約の締結（リサイクルセンター建設工事）

Q 指名15社中12社が辞退し3社のみ入札となったが、技術レベルの保証等大丈夫か。

A 事前の調査で確認済みであり十分対応可能である。

●工事請負契約の締結（ストックヤード棟建設工事）

Q 入札価格が極めて接近しており、落札率も97.14%と高い。談合では。

A 最低価格等提示しており一概に談合があったとは言えない。

●議員提出議案

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例・規則の一部改正。

● 苅田町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

● 苅田町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

●人事案件

苅田町固定資産評価審査

委員会委員に

上坂 信一郎氏

の選任に同意。

意見書 8 件

うち、次の4意見書は、可決され関係機関に送付しました。

- 「がん対策推進基本計画」早期決定を求める意見書
- 公開制度見直しなど戸籍法の早期改正を求める意見書
- 医師不足を解消し、安心できる地域医療体制の確保を求める意見書
- 品目横断的経営安定対策の見直しに関する意見書

●平成19年
第1回苅田町議会臨時会

平成19年1月25日に開催された臨時会4議案は、慎重審議の結果可決された。
●平成18年度一般会計補正

- 予算(第9号)
- 工事請負契約の締結について(苅田町立中央公民館空調・換気設備改修工事)
- 工事請負契約の締結について(議決内容の一部変更(苅田町立南原小学校屋内運動場改築工事))
- 財産の取得について(中央公民館第5研修室設備購入)

「入札制度改善のための調査研究」にかかる
苅田町議会入札制度改善対策特別委員会中間報告(抜粋)

苅田町議会会議規則第47条第2項の規定により次に報告する。

【経過概要】

平成17年9月議会において、苅田町の臨空産業団地造成工事の入札に議員が関与した事件を議会として真摯に受け止め、苅田町における入札制度の改善の見直しを行うこととし、「苅田町議会入札制度改善対策特別委員会」を設置した。

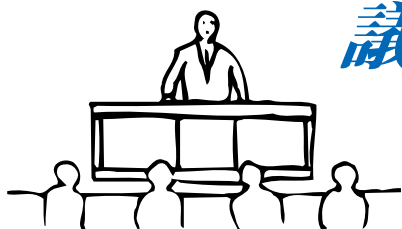
【委員会の意見】

入札のための調査研究について委員会は、平成12年11月27日公布された「公共工事の入札及び契約の適正化に関する法律」に基づき、苅田町でも平成13年4月1日より入札制度の事務改善をし、町独自の改善策がとられたことを高く評価する。

- ① ふたつの事件については、議員が関与した事実から、苅田町政治倫理条例(平成11年苅田町条例第5号)を遵守するとともに、さらに厳しい内容への改正案の検討を行うこと。
- ② 談合防止策のひとつとして、談合関与者への制裁規定についても現行の指名停止期間でよいのか厳罰化のための更なる延長を検討して提案していく必要がある。
- ③ 談合行為そのものは、入札価格を不当に高止りさせることになり納税者に不当な負担となることから、談合がしにくいとされる一般競争入札や電子入札等についても事務量と経費の効果を考えながら導入への検討を提案していく。しかし「安かろう・悪かろう」とならないように公共工事の品質の確保に当たり「公共工事の品質の確保の促進に関する法律」の主旨が十分生かされるような検討が必要と併せて提案を行う。

委員長 梶原弘子

議会を傍聴しませんか



次の定例会は6月です。

一般質問は6月12日・13日・14日(3日間)の予定。

開催時間/10時~17時(予定)受付は庁舎6階まで。

3月議会は87人の傍聴者がありました

問い合わせは議会事務局まで ☎093-434-1981

野本 正樹 議員

- 1.町民プール建設基本方針
- 2.プール建設にともない総合体育館
(トレーニング室の見直し)

10

木原 洋征 議員

- 1.国保税について
- 2.教育問題について
- 3.吉廣町長の基本姿勢について
- 4.障害者基本法について
- 5.後期基本計画について

11

常廣 直行 議員

- 1.北部九州自動車150万台体制へ向けての苅田町の課題
- 2.平成19年度予算にみる今後の政策
- 3.平成19年度組織変更の狙い

12

長井 孝篤 議員

- 1.今後5年間の大型事業案件の概要と実施に伴う財政
見通しについて
- 2.農業集落排水事業の現況と今後の進め方について
(合併浄化槽との対比)
- 3.水資源対策について

13

友田 敬而 議員

- 1.魅力あるまちづくり

14

川上公美子 議員

- 1.地方自治体の役割を担う町政を
- 2.町民の声にそった町政を

15

武内幸次郎 議員

- 1.良水の安全供給について
- 2.定住化に向けての施策について
- 3.農業振興について

16

小山 信美 議員

- 1.放課後児童健全育成事業の充実と児童館
- 2.子育て家庭への支援について
- 3.特別支援教育支援員の拡充について

17

梶原 弘子 議員

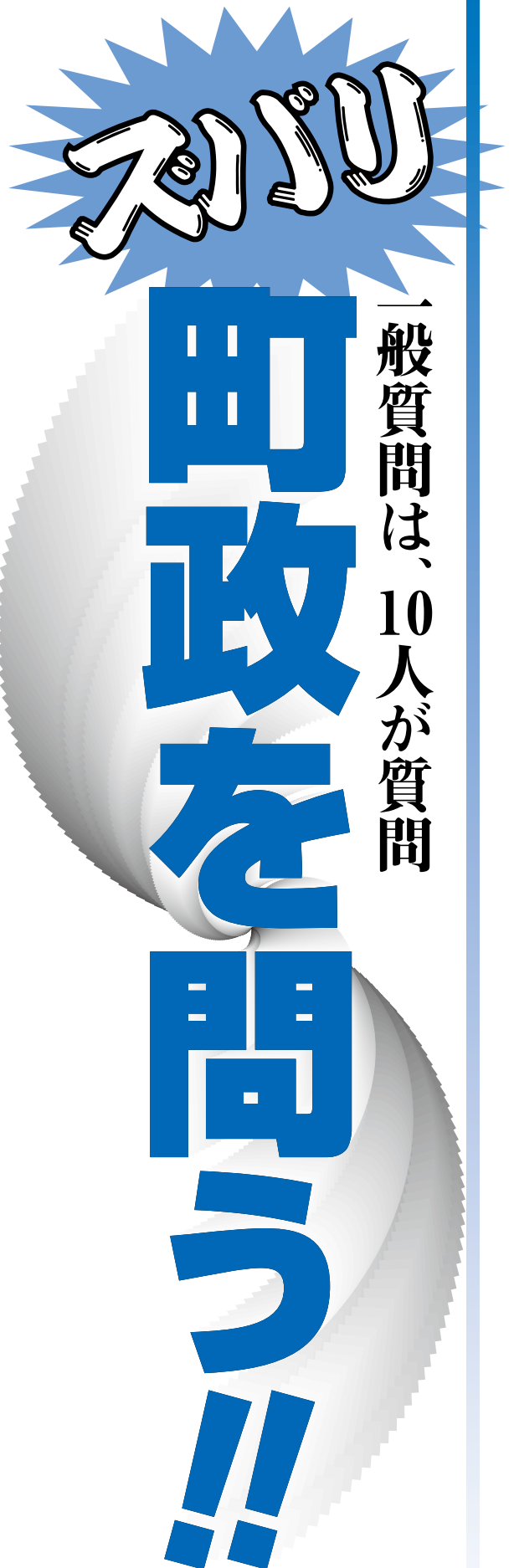
- 1.町民が納得する政策を
- 2.スポーツ環境について
- 3.教育施設の充実を望む

18

松蔭日出美 議員

- 1.少子化対策について
- 2.苅田町の人口増について

(松蔭日出美議員の一般質問については、原稿
提出を辞退する申し出があり、質疑応答の内
容は割愛し質疑項目のみ掲載しました。)





野本 正樹 議員

Q 町民プール建設・トレーニング室の見直しを

A 町民の健康・ニーズに対応できるプール建設を考える

Q どのような町民プールを考えているのか。

A 現在、教育委員会所管のスポーツ振興審議会で審議を重ねている。

子どもの体力向上に限らず、高齢者、障害者を含めた全ての町民のさまざまなニーズに対応できるプールを考えている。また、管理・運営についても今後十分検討をしていく。

Q プール建設に伴い総合体育館のトレーニング室の見直しは。

A 計画中のプールは、総合体育館と隣接しており、施設の効率的運用が図れると考える。また、相乗効果が発揮できるよう、トレーニングマシンの内容も十分

検討していきたい。

Q 室内温水プールの場合、光熱費が問題だ。国でも推進している太陽光発電を取



プール建設予定地周辺



総合体育館トレーニング室

り入れるべきでは。また、町民の健康、体力づくりのため、一人ひとりのニーズに合った健康カルテづくりを導入したらど

うか。プール建設に当たっては、お年寄りに優しいバリアフリー化を願うとともに、無駄のないプール建設を切に希望する。



木原 洋征 議員

Q 国保税は引き上げではなく

引き下げこそ決断を

A 赤字で、引き下げは考えられない

Q 国保税の滞納世帯が1,859世帯、29%と県に比べて10%も高いのはなぜか。

A 荏田町だけがなぜ多いのか、現状がつかめていない。

Q 滞納者への資格証明証発行は、弱者から医療を排除、非人道的。

A 法令で定める特別な事情がある方は国保証を発行できる。

Q 厚生労働省は「生活保護基準以下も特別な事情に

入れてよい」と答えているが、間違いないか。

A そのとおり。

Q 町民が負担増に苦しんでいる。知恵を絞って努力をして、出来なければ一般会計からの繰り入れで引き上げ中止を。

教育問題に

ついて

Q 片島小学校の児童増加対策で、雇用促進住宅の家賃助成増額を。

A 入居後3年目の家賃改定分6,700円を追加助成する。

Q 5年後、10年後を見越した将来計画も必要。

Q 南原小学校の新4年生は卒業まで40人規模、新3年生は入学時より少人数学級、不公平では。

A 指導方法での弾力的対応で、取り組みを進めている。

Q バリアフリー法で、学校は新築の場合エレベーター

ー設置が義務付けられている。また、既存の建築物についても、エレベーターを含めバリアフリーの推進が努力義務になっているが、法に基づいて推進化計画を策定すべきと思う。

A 今のところ推進計画は作っていない。

Q 1校に2台のエレベーターはムダと言うのは、障害の程度を考えて

いない。個人の尊厳や人権も考慮しない発想、新津中の4階棟にぜひ設置を。

A 個人も全体も100%満足が理想であるが、努力はしている。

Q 困難な先天性障害にもかかわらず、将来に夢を持つてがんばっている障害児の願いをぜひ聞いてほしい。

A ぜひ応援をしたい。人的支援のほうが必要ではないか。最良の形を今から見つけて支援をする。新津中学校で学業を続けてほしい。

Q 図書館の位置づけが低く扱われている。町民に本の魅力を語り、本のとりこにさせるような情熱あふれる専門職員の育成と継続配置が必要ではないか。

A 図書館は町の生涯学習の中では大事な施設と認識している。



片島雇用促進住宅



常廣 直行 議員

Q チャンスを活かす企業誘致政策は

A 県とタイアップして 自動車関連企業を誘致する

150万台へ

向けての課題

- Q** 北部九州のリーダーとしての苅田町の考え方は。
- A** 150万台体制に向け、企業誘致が苅田町を中心に京都平野全体に広がることを望む。
- Q** 今後、新たに工業団地を造成する予定は。
- A** 現状を見極めながら判断。白石工業団地付近に増設は可能。
- Q** 都市計画マスタープランの達成率は。進捗管理部署はどこ。
- A** 細かい整理はやっていない。今後、報告したい。進捗管理部署は都市整備課。

安全、便利な

生活道路

- Q** 車と自転車の接触事故が増加、警視庁が全国に到達した危険箇所調査の苅田町の状況は。
- A** 現在、把握していない。
- Q** 例えば白石工業団地道路を少し延ばせば門司行橋線につながり、小波瀬西工大前駅移転予定ロータリーを通過可能にすれば危険なT字交差点が解消される。少しの工夫で安全、便利になるのでは。
- A** できるだけ緩和しながら、早く安全な形になるよう努力する。

目標人口政策

- Q** 目標人口平成22年に4万人、今後3年間の施策は。
- A** 土地を探し民間開発を依頼、合わせて与原区画整理事業にて住宅政策を進める。同時に環境、文化、教

組織変更と

人材確保

- Q** 育、福祉の充実も心がける。過去に開発した団地の人口減少も将来的に考慮した開発計画が重要だ。
- Q** コンパクトシティー提言
- Q** 高齢者住居や福祉施設は中心市街地より離れ、分散している。外出や買い物でもできず自立できなくなってしまう。分散から集中型へ歩いて暮らせるコンパクトシティー構想検討を提言。
- Q** 福祉関連施設の数と、民間管理施設の数、その割合は。
- A** 数と割合は把握していない。町が管理しているのはパンジープラザで後は民間。
- Q** 企業立地プロジェクト室は現状の業務内容から課

に変更するべきではなかったか。

A 平成20年度に庁舎改修後、見直しを行う。

Q 特殊技能や資格を持つ人材を確保するために臨時職員を職員に登用する制度を作れないか。

A 国の動向を見ながら考えて行きたい。

Q 臨時嘱託職員は将来に不安を持ちながら業務に専念できない。仕事のやりがいや意欲を向上させる施策が必要だ。



企業誘致が予定される臨空団地



長井 孝篤 議員

Q 大型事業の重点実施を

A 財政を見据え効果的に行う

Q 荇田町は数多くの大型公共事業が予定されているが、優先順位付けは。

A すでに実施計画に挙げられている事業を優先的に実施。新しい事業、与原生地区画整理、プール建設、小波瀬西工大前駅移転等の新規事業は、毎年財政状況を見据えながら実施する。

A 事業実施に当たり借金である地方債は財政に余裕のある現状で減らすべきではない。

方債は増加傾向、金利上昇が想定され出来れば発行を縮小させたい。

Q 井場川河口の集客設備事業は。

A 新年度で埋め立てのみ実施。法が変わり、今後は観光振興計画の中でゼロベースで検討し直す。

Q 町民プール（冷水、温水）計画の建設費、管理費は。

A 建設費は屋内冷水式で約3～4億円・温水式で8～10億円程度。年間管理費は5千万～1億円。

の反省に立ちどのように改善するのか。

A 期間の短縮、工事のスピードアップを考える。

Q 具体的なコストダウン方法は。

A 家の移転の方法、減歩のシステム等改善を考える。

農業集落排水事業の進め方

Q 片島地区に完成した農業集落排水の利用状況は。

A 288戸中24戸繋ぎ込み完了。19年度中に150戸になる見込み。

Q 今後の見通しは。

A 残り地域を2箇所にわけ平成32年度中に完了見込み。片島地域の実態を参考に進める。

Q 公共下水道、合併浄化槽の普及を含め不公平感のない事業の進め方をすべきだ。

A 総合的に判断し進める。

Q 与原生地区画整理事業について、小波瀬地区画整理事業

A 関係方面に働きかけ定住化を積極的に図っていく。

Q 最終決断は町長であり、町民への説明責任を果たしていただきたい。

Q トヨタエンジン工場の増設、日産車体の進出が決まり従業員1,500人程度が見込まれるが、町内定住対策は。

A 関係方面に働きかけ定住化を積極的に図っていく。



片島地区農業集落排水場



友田 敬而 議員

Q 下水道の完成は

A 40~50年先を予定している



急がれる公共下水道工事

- Q** 日豊線より西側の整備は40~50年先である。
- A** 整備総面積1,060ha。供給開始面積160ha、認可区域333ha。完成予想は40~50年先である。
- Q** その中で大切な事業である下水道の現状は。
- A** 産業は立地条件に恵まれて、多くの企業が進出をしているが住環境、生活環境、教育、文化芸術環境は早めに進めていきたい。
- Q** 荊田町の現状認識は。
- A** 産業は立地条件に恵まれて、多くの企業が進出をしているが住環境、生活環境、教育、文化芸術環境は早めに進めていきたい。

- 開始時期は。
- A** 15~20年先になる予定。
- Q** 現在の整備方法は。
- A** 今年より交付金事業で行っている。
- Q** 現在の豊かな財政状況を生かし、交付金事業、補助金事業の2本立てで行っているかどうか。
- A** 国の財政状況に左右される補助金事業方式は難しい。
- Q** 住民への環境整備と政策的観点からの投資的環境整備を分けて考えて行っていくべきでは。
- A** 1年でも早く整備していきたくてもう一度よく検討していきたい。
- Q** 荊田駅周辺整備事業に併せて駅西側の下水道事業の整備も。

A JRとの関係もあるのので一体的に整備できるように検討したい。

Q また、駅周辺整備事業だけでなく相乗効果を出す意味も含めて文化的施設の検討を。

A たくさんの方の意見を聞いて進めていきたい。

Q 教育改革の成果は。

A 改革の3つの柱、「確かな学力」「国際性」「強いパートナーシップ」を推し進めているが確実に成果が



元気に遊ぶ子供

- Q** 上の上がっている。
- A** 他の自治体にはない飛びぬけた学校施設の充実、校庭の芝生化、夜間照明の設置などを検討してほしい。
- Q** 今後、校舎・校庭のあり方を検討していきたい。
- A** 今後、校舎・校庭のあり方を検討していきたい。
- Q** 人口増加策の切り札としてマンション等集合住宅、住宅団地への土地提供者に報奨金を検討してみたい。
- A** 緊急の課題である住宅政策はいろいろな観点から検討していきたい。



JR 荊田駅



川上公美子 議員

Q 地方自治体の役割を担う町政を

A 総合的な検討が今後必要である

全国一斉学力

テストの中止を

Q 昨年、教育の憲法である教育基本法が多くの反対を押し切って変えられた。その裏で政府は学力テストの準備を進めてきた。中身は学力の内容、到達目標を国が定めて、市町村、学校がその目標を達成する責任を果たしているかを検証するものである。ベネッセコーポレーション、NITTデ

ータが、試験問題や解答用紙とともに学習塾に行く日数、科目、自宅の本の冊数を調べる質問用紙を出す。これは子どもと学校の情報を一手に握り受験産業と結託した国による教育の管理統制につながりかねない。前回の質問に対し、公表しない前提で実施するとしているが現時点ではどうか。

A 機密漏えいがあれば法的措置をとる契約が交わされている。

Q 荻田町で公表しなくて

も県ごとの集計が出される。東京都では先取りされ、学校間の競争が激化し学校や教職員の評価、出題傾向の練習までさせている様々な問題を指摘しておく。

学童保育の充実を

Q 荻田小学校、与原小学校校区で学童クラブに入所できない新一年生が多数いるがその対処は。

A 別の場所での開設を含め検討していく。

Q 他の自治体のように入所できる学年の引き上げはしないのか。

A その予定はない。

Q 小、中、高校生が利用できる児童館の設置はいつ頃か。

A 複合施設を平成19年度

の子ども居場所検討委員会で検討していきたい。

図書館で文化のまちづくりを

Q レファレンスサービス（必要とする文献や参考図書についての情報を教えた）が検索に協力すること）が

平成6年度の3,741件にまで落ち込んでいる。教育立町を唱えているが図書館にとって致命的なことではないか。

A それぞれの職員がプライドと専門性をもって仕事をしている。

Q 正規職員が2名では、多くの町民が利用する莫大な知識や情報を提供する場とならない。それに比べて人件費は947万円の削減にしかかっていない。

Q 障害者控除の認定の周知を。

A 身体障害者手帳不交付の65歳以上で身障者に準ずるとして認定された方が控除の対照となる。



町立図書館



武内幸次郎 議員

Q 水問題は町の根幹を 帰する重要施策だ

A 引き続き関係機関や関係者の 理解を得るべく取り組みを行う

Q 水源対策として示された、短、中、長期的な3案の進捗状況は。

A 短期的の山口ダムの譲渡については、県の河川課と協議中であるが年度内に譲渡承認がいただけるのではないのか、中期的な北九州市からの導水は動向を見ながら協議を進めたい。長期的な二先山の貯水池の開発は与原区画整理事業との関係があり引き続き検討している。いずれも解決には至っていない。

Q 山口ダム譲渡については、年度内に承認される見通しだが、以前から言っているようにもらい受けた後が問題である。下流域の水利組合や土地改良区との水



山口ダム

A 関係の方々には理解をいただくよう取り組んでいく。利権について協議を進めなくては一案にはならない。

Q 北九州市からの導水については全く進んでいないが恒常的に貰うのか、緊急時に貰い受けるのか、詰めないで浄水場改良工事にも影響するのではないか。

A 市長選があり話し合いができていない。新市長と今後話し合いを進めていく。

Q 葉山池（二崎山）の拡張案は与原区画整理事業との関係も指摘してきたが、おいしい水の供給の元は良質な原水であり、町民はおいしい水を求めている。汲み上げた湖水で住民の要望に応えられるのか。水源対策プロジェクトで、さまざま問題点について検討されていると思うが根本的な問題を解決しないと後々に響いてくる。十分精査していただきたい。

A 北九州市からの導水の問題、山口ダムの譲り受け後の枠の問題など全てが絡まっており、それらの解決なしでは浄水場改良工事も決められないのではとの指摘どおりであり、今後どのように進めるのか大きな行政課題であると同時に政治的な課題である。二崎山に

については他の進捗度合いを見ながら検討していく。

Q 水道事業収益は累積欠損額が年々増えており、減価却費等を食いつぶしている。浄水場改良工事を行うための資金計画はなされているのか。

A 水道事業は独立採算制が原則であり料金の見直しも必要だ。



改良工事が待たれる二崎浄水場



小山 信美 議員

Q 妊婦無料健診の回数拡大を

A 県の説明会後、考えたい

Q 子育て支援について厚生労働省から来た通知の把握は。

A 1回目6,470円、2回目5,970円である。

Q 定数オーバーの場合の対処は。

Q 厚生労働省は5回以上の検診が必要とし、全国基準とする方針であるが、本町の考えは。

A 今の現状では受け入れられない。場所等当たってはいるが早急には行かない。

Q 無料検診の金額の上限は。

A 他市町村の動向を見て、受診回数や公費負担額を検討する。

Q 19年度学童保育の実態は。

A 荻田小学校区87人、南原小学校区24人、与原小学校区63人、白川小学校区10人、馬場小学校区は4月に募集する。



Q 児童館についての取り組みと考え方は。

A 子どもの居場所づくり検討委員会を立ち上げ、居場所づくりだけでなく青少年のあり方、女性相談窓口になるような複合的なものを町民の意見も聞いて建設したい。

Q 障害者のいるクラスの対応は。

A スクールカウンセラーで対応している。

Q 教頭、校長先生の研修は。

A 特別支援教育の研修会で行っている。

Q 現段階と年間計画について。

A 視察を含め4回行った。新年度から複合的な施設を具体的に検討していく。

Q 最終的には何年先を目標にしているのか。

A コーディネーター養成講座を各学校最低1名は受講している。

A 町民の意見を集約し予算も考えて、出来れば任期中に着手したい。

Q 各クラスに *1 LD、*2 ADHD、高機能自閉

症の障害を持つ人の割合は。

A 一般的に約6%と言われて

数字は調査、把握していない。

Q 今後の取り組みは。

A 教育委員会とも今後話を

をして、適切な支援をして

いきたい。
*1 LD (学習障害)
*2 ADHD (注意欠陥多動性障害)



馬場小学校区学童保育



梶原 弘子 議員

Q 町民が納得する同和施策を望む

A 近隣市町村を見ながら方針を決定する

Q 京都市橋解放学級運営委員会の規約によると、会長は1市2町のもち回りで今回は苅田町の職員が会長、副会長は解放同盟員、事務局長は町内小学校教員である。公務員や教育従事者が特定団体の運営にかかわるのは公務員法違反ではないか。

A 今までの歴史もあり全く問題はないが今解散の方で協議している。

Q 苅田町職員倫理条例3条では「町民の一部に対してのみの奉仕者でないことを自覚し」とある。相当額の出張費が出されているのではないか。

A 出張費が出されているのかどうかかわらない。

Q 障害者自立支援法ができて障害者が普通に生活するのになぜお金を払わなければならぬのか。障害が重い程負担が大きい。この法律は人道的に許せない。全国で見直しが言われている。名称は自立支援法だが、実際は家族が利用費を払っている実態はつかんでいるのか。

A 実態はつかんでいない。国の動向を見て町の施策を考える。

Q 町内施設運営について問うが障害者の負担増で施設利用回数が減少。働いている人達の生活にも大きく影響がでている。対応はどうするのか。

A 町が法人や団体に助成はしない。

Q スポーツ団体の実態について、移動に「かんた号」は使えないのか。本格的な陸上競技場がほしい。会場の利用減免制度の復活と予約制度を簡単に、夜間練習ができるよう照明が欲しい等々の意見が出されている。条例の中にスポーツ振興審議会では、スポーツの施設及び設備の整備に関することとなっているがどう

しているのか。
A 基本に沿ってやっている。

教育は未来に 向けての投資

Q 教室内が暗く視力が弱い生徒が多い改善を。更衣室がせまい。プールに塩素をバケツでまいては危険。必需品のパソコンは教師持ちせめて学年に1台はほしい。LANがつながっていないので印刷も便利が悪い。学級で使う紙類は教師の手出しで買うことがある。各学校の空き教室を整えて面談室等にしたい。

A 必要の要望の対応を。
A 消耗品は学校教育で対応する。



カメラ見て歩き



卒業 おめでとう



南原小卒業式



与原小卒業式



片島小卒業式



新津中卒業式

入学おめでとう



片島小入学式



南原小入学式



与原小入学式



新津中入学式

*写真については提供のあった学校のみ掲載しました。

がんばれ地域のサポーター
(第15回)

バドミントンを通していい思い出を
がんばれ 京都クラブ！

代表 福本 信太郎



平成2年度に福岡県で開催された「とびうめ国体」を前にジュニア育成の機運が高まり、苅田町バドミントン協会からの勧めもあって、昭和58年11月に小学生男女12名で、「京都バドミントンクラブ」を結成しま

した。
当初は、週2回、2時間程度の練習で、内容も基礎的な練習の繰り返しでした。

1年余り経ってから、県でもトップレベルのチームと練習試合を行い、結果は惨敗でした。反省会で、選手たちの中から、もっと上手になりたいという気持ちが生まれ、次のことを目標に行うようにしました。
一、練習回数、時間を増やす。
二、クラブの約束事やマナーを守り、練習は真剣に元気あるプレーをする。

三、県No.1を目指す。
初めての公式戦出場は、昭和60年1月、県大会の地



区予選で敗退しました。しかし、選手たちも徐々に力をつけ、昭和61年9月の大会では目標である県1位の選手が生まれ、皆で喜びました。それからは、選手たちの間で、頑張ればできるという気持ちが生え、日頃の練習だけでなく、家庭で自主トレーニングをするなど、積極性が見えるようになりました。

部員数も一時期は30名超の時もありましたが、現在は15名、練習は週3〜4回で、基本練習、実践練習、ゲーム練習等、選手たちのレベルに合わせて行い、月1〜2回は、長距離走の記録会を実施しています。
今年の11月で創部24年になります。その間、中学生女子シングルで、2度の全国優勝を始め数多くの大会ですばらしい成績を残し

てくれました。卒業生の森かおりは、全日本総合女子シングルで2度の優勝、更にアテネオリンピックに出場。塩田玲子は、全日本総合女子ダブルス3連覇中で、二人とも北京オリンピックの有力候補として頑張っています。

選手たちには、日ごろの練習を大事にしバドミントンを通して、いい思い出が残せるように保護者をはじめ多くの人の協力を得ながら今後とも頑張っていきたいと思います。



議 会 広 報 特 別 委 員 会	
委 員 長	光 永 信 雄
副 委 員 長	井 上 弘 子
委 員	梶 原 幸 次 郎
武 内 幸 次 郎	常 廣 直 行
小 山 信 美	友 田 敬 而

あ と が き

桜前線の上昇と共に新緑の生気を感じる季節となりました。

今回の議会報は3月定例会を中心にお届けいたします。

3月議会は新年度に於ける町の事業や施策を町民に対し約束をするものであり最も重要な議会でもあります。

新年度予算より三位一体改革の一環である税源の見直しなどが図られ地方分権が若干ではあるが進展しつつある。自治体の自由度を高め効率的で特徴を出しうる行政運営を期待したものであるが、現在、問題視されている地域間格差が生まれることにもつながる。しかしながら、この期をチャンスと捉え新たなものに挑戦したいものであります。今議会も10名の議員が登壇し活発な議論がなされました。地方分権による議会の責任も増大しています。是非とも議会傍聴をし町政に関心を持つと共に議会、議員に対し批評等をいただければと思います。

武内 幸次郎